

第3期 ESG/SDGs 対応フォーラム (笹谷塾)

～持続可能性新時代におけるグローバル競争戦略、
SDGs経営による新たな価値創造～

開催期間▶2019年9月18日(水)～2020年5月20日(水)(全9回)
会 場▶アイビーホール(東京・表参道)ほか

●塾長●

社会情報大学院大学客員教授、(株)伊藤園元取締役 **笹谷 秀光** 氏(ささや ひでみつ)

CSR/SDGsコンサルタント、日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事

※講師は「第70回 全国能率大会懸賞論文発表会」においてSDGs関連の論文で最優秀賞「経済産業大臣賞」を受賞(2019年5月27日)

【略 歴】

東京大学法学部卒業。1977年農林省入省、大臣官房審議官、関東森林管理局長などを経て2008年退官。同年伊藤園入社。取締役などを経て19年4月退職。18年10月よりPwC Japanグループ顧問、19年4月より社会情報大学院大学客員教授。

サステナビリティ日本フォーラム理事、日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、通訳案内士資格保有(仏語・英語)。現在、幅広くパネリストや講師として登壇。

【著 書】

「CSR新時代の競争戦略-ISO26000活用術」(日本評論社)「協創力が稼ぐ時代」(ウィズワークス社)「経営に生かすSDGs講座」(環境新聞社) 笹谷秀光公式サイト-発信型三方よし <https://csrsdg.com/>



●「SDGs経営」の時代へ

SDGsが「経営マター」になったと聞きますが、どういう意味でしょうか。SDGs(Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)とは、要するに、これからの未来について語る場合の世界の共通言語です。17の目標と169のターゲットによって構成され、持続可能な社会作りに関する様々な取り組みの集大成で、先進国も途上国も、政府も企業もすべてで自主的に取り組む2030年への目標です。経済産業省も5月に「SDGs経営ガイド」を発表しました。今年はSDGsが本格的に活用される「SDGs経営元年」になります。

●ESGとの関連

一方、投資家を中心に、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)への要請が世界的に強まっています。ESG投資家はその判断にあたり企業のSDGsへの取り組みを一つの指標として使い、ESGとSDGsは「裏腹の関係」になりました。これはSDGsへの対応が株価水準に影響するようになったことを意味します。これまでのCSRなどと違って「経営マター」になった最大の理由です。非上場企業も取引先の上場企業からSDGsを求められるので例外ではありません。

また、SDGsの17の目標のカバー範囲は極めて広いです。企業統治や環境課題への対応のみならず、働き方改革、優秀な人材の確保、採用、マーケティングやブランディング、地域社会との関係など幅広いテーマをSDGsはカバーしています。さらにSDGsは世界での共通言語であり、グローバルビジネス

年間プログラム

①

9月18日
(水)

〔1部〕ゲスト講演「花王の ESG 経営」～Kirei Lifestyle Plan～

花王(株) ESGコミュニケーション担当部長 大谷 純子 氏

〔2部〕【基本シリーズ1】経営環境の激変 ～ESG(環境・社会・統治)とSDGs～

1. 企業を取り巻く激動の世界潮流 ―サステナビリティ新時代とSDGs/ESG時代の到来―
2. CSRの変遷
3. ESG投資の現状と将来予測
4. CSR体系を生かしたESG対応

②

10月16日
(水)

〔基本シリーズ2〕社会対応力の強化 ～CSRの見直しとCSV～

1. CSRの基礎
2. CSRの見直しとCSV
3. CSRの体系とCSV, ESG, SDGs

③

11月20日
(水)

〔1部〕JAL 見学会「JAL の SDGs とオリンピック・パラリンピック」

日本航空(株) 執行役員コミュニケーション本部長

東京2020オリンピック・パラリンピック推進担当、CSR推進担当 下條 貴弘 氏

〔2部〕【基本シリーズ3】持続可能性の共通言語の活用 ～SDGs～

1. SDGsとは何か
2. SDGsの活用 ―ビジネスチャンスとリスク回避―
3. 五輪とパラリンピック
4. SDGsの社内浸透事例

④

12月11日
(水)

【応用シリーズ1】

統合報告書とは何か、そのつくり方 ～国際ルールとESG投資の動きを踏まえる～

1. さまざまな国際ルールや考え方の整理
2. 財務情報と非財務情報
3. ESG投資への対応と統合報告書
4. 参加企業の統合報告書・各種レポートの分析

第1期【ゲスト】 オムロン、
パナソニック

【見学会】 オカムラ

第2期【ゲスト】 コールドマン・サックス証券、
住友化学

【見学会】 セイコーエプソン/エプソン販売、
NECネットエスアイ



には必須です。SDGsに関心の高いミレニアル世代の消費者への対応も課題です。

●SDGsは共通価値の創造(CSV)そのもの

SDGsを「持続可能性の共通言語」として使いこなし、ビジネスチャンスとリスク管理両面で活用すれば共有価値創造(CSV)戦略になります。SDGsトッパンナーである、「ジャパンSDGsアワード」からも学びます。また、東京五輪・パラリンピック、2025年大阪・関西万博でも調達などでSDGsが参照されます。地方創生でもSDGs未来都市が選定されました。以上を踏まえ、SDGs経営への道筋を示します。

●これならわかる、SDGs経営の理論と実践

講師の行政経験(農林水産省・外務省・環境省)とビジネス経験(株式会社伊藤園他)を活かし、企業価値(企業ブランディング)の向上と企業のインナーブランディング(社員のモチベーション向上)を狙います。

そこで、①CSRの見直しと強化、②SDGsの活用とESGへの対応、③共有価値創造CSVの実践、④統合報告書での発信のための理論と実践、⑤社内浸透をわかりやすく示します。

グループ討議・事例発表のほか、先進事例ゲストや見学会も設けます。CSR、IR、広報、ブランディング、経営企画など幅広い業務の責任者・実務家、そして経営層も対象とします。部署横断的な課題も多いので、部署間リレーでの参加も歓迎します。

⑤
1月22日
(水)

〔1部〕ゲスト講演「三菱商事のサステナビリティの取り組み」

三菱商事(株) サステナビリティ・CSR部

ステークホルダー エンゲージメントチームリーダー 浅野 雄亮 氏

〔2部〕【応用シリーズ2】 共通価値の創造 ～Society5.0とCSV～

- 1.CSV(共通価値の創造)ー経済価値と社会・環境価値の同時実現ー
- 2.価値創造とESG/SDGs
- 3.企業の事例(日本・世界)、フォーチュン誌「世界を変える企業50選」
- 4.参加企業の事例発表

⑥
2月12日
(水)

【応用シリーズ3】 関係者連携の手法 ～企業間連携・まちづくりビジネスを例に～

- 1.SDGsと企業間連携
- 2.SDGs未来都市とは
- 3.新たな地方創生ビジネス

⑦
3月18日
(水)

〔1部〕ゲスト講演「アムンディ・ジャパンのSDGs 達成への取り組み」

アムンディ・ジャパン(株) ディレクター 運用本部ESGリサーチ部長 近江 静子 氏

〔2部〕【価値創造実践シリーズ1】

チャンスとリスクマネジメント ～働き方改革・女性活躍・次世代育成・採用など～

- 1.働き方改革とCSR/CSV/SDGs
- 2.次世代育成・女性活躍・採用
- 3.新たな課題への対応とリスクマネジメント

⑧
4月15日
(水)

【価値創造実践シリーズ2】

「発信型三方よし」～サステナブル・ブランドと広報・発信～

- 1.サステナブル・ブランドの構築と広報
- 2.「発信型三方よし」ー日本型CSVとしてわかりやすく説明
- 3.パブリックリレーションズとSDGs/ESGコミュニケーション

⑨
5月20日
(水)

【価値創造実践シリーズ3】

サステナビリティ・マネジメント ～企業価値の向上と社内浸透～ ～まとめ～

- 1.サステナビリティ・マネジメントーCSR/CSV/SDGs/ESGの統合化ー
- 2.価値創造の戦略とストーリー
- 3.コーポレートブランドの確立で企業価値の向上

開催要項

【期 間】2019年9月～2020年6月（全9回）

【日 時】原則として毎月1回 14:00～17:00

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
9/18 (水)	10/16 (水)	11/20 (水)	12/11 (水)	1/22 (水)	2/12 (水)	3/18 (水)	4/15 (水)	5/20 (水)

▶ 14:00～15:30

1. 笹谷氏の今月のトピックスと講義

（2回目以降は前回のまとめを入れます）

▶ 15:40～16:30

2. グループ討議

（グループ討議では、討議の進め方ファシリテーションも重視し、節目の回では事例発表も行うなど、実践を通じて学びます。塾長からブレゼンの仕方学びます。）

▶ 16:30～17:00

3. 総括

前期までの参加企業

味の素
天野エンザイム
NECネットエスアイ
NECプラットフォームズ
NTTドコモ
オカムラ
ぐるなび
グレートワークス
京浜急行電鉄
サカタのタネ
ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム 日本事務所
シーピー化成
JSR
JXTGホールディングス
ショーボンド建設
セイコーエプソン
西武信用金庫
セブン銀行
相鉄ホールディングス

大成建設
大日本印刷
大鵬薬品工業
タムラ製作所
中外製薬
DTS
デンソー
トーマツ
トヨタ自動車
日医工
ニチレイ
日産化学
日清オイリオグループ
日清製粉グループ本社
日本検査キューエイ
日本ゼオン
日本電気
日本発条
日本ハム

野村総合研究所
博報堂
パナソニック
プロティビティ
ベネッセホールディングス
ポーラ・オルビスホールディングス
三菱ガス化学
ミルボン
持田製薬
山崎製パン
ゆうちょ銀行
楽天
リクルートホールディングス
ルネサンス
ロイヤルホールディングス
YKK
YKK AP

参加要領・申込書

参加料

《年間参加費》 **正会員 259,200** 円(本体価格 240,000 円)
一般 297,000 円(本体価格 275,000 円)

1社分の参加費で
2名まで参加可能

お申込み・お問合せ

一般社団法人 企業研究会 担当：村野

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 MFPR麹町ビル(旧 麹町 M-SQUARE) 2F
TEL：090-6797-1982(村野)、03-5215-3511(代表) FAX：03-5215-0951
E-mail：murano@bri.or.jp URL:https://www.bri.or.jp

●法人会員企業は当会ウェブサイトでご確認いただけます。●お支払い方法は、参加者宛に請求書送付後、指定銀行口座にお振込み下さい。●通信費、資料代、飲食代の一切を含みます。●分割支払や次年度支払いもお気軽にご相談下さい。●例会終了後の懇親会は別途実費となります。

※申込書にご記入頂きました個人情報は、本コースに関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

コード：190331 お申込み

ESG/SDGs 対応フォーラム



検索

※DMの停止・登録情報変更は、①弊社ホームページ右下「変更フォーム」、または、②専用ダイヤル【03-5215-3512】にてご連絡ください。